

## 「災害が発生した時に運転者がとるべき措置」 常日頃から大きな地震が発生したときにするべきか考えておきましょう

昭和53年6月12日に発生した宮城県沖地震では、倒れたブロック塀の下敷きになるなどして多くの方が死傷しました。同時に、停電などにより交通網に甚大な被害が発生しました。宮城県では、6月12日を「みやぎ県民防災の日」と定め、毎年、自治体や企業で防災訓練などを実施しています。

これを機会に、自動車を運転中に大きな地震が発生したらどのように行動すれば良いのか考えておき、いざという時に備えましょう。

### 『車を運転中に大地震が発生したら』

- 急ハンドル、急ブレーキを避けるなど、できるだけ安全な方法により道路の左側に停止させる
- 停止したら、ラジオ等により地震の情報、交通情報を入手して、周囲の状況に応じて行動する
- 引き続き車を運転するときは、道路の損壊、信号機の作動停止、道路上の障害物に十分注意する
- 車を置いて避難するときは、できるだけ左側に寄せて駐車し、エンジンは止めて、キーは付けたままにし、窓は閉めて、ドアロックはしない

### 『車を運転中以外に大地震が発生したら』

- 津波から避難するためにやむを得ない場合を除き、避難のために車を使用しない
- 津波から避難するためにやむを得ず車を使用するときは、道路の損壊、信号機の作動停止、道路上の障害物などに十分注意しながら運転する

### 梅雨時の安全運転対策！！

宮城県でも、間もなく梅雨入りとなると思われませんが、降雨時は、次の点に注意して運転しましょう

- ☆ 雨による視界不良に注意  
ガラスの清掃 ワイパーチェック 曇り止めスプレー
- ☆ 雨音による車外の音の遮断に注意  
雨音で、外の音が聞こえずに情報が得られないことも
- ☆ ハイドロプレーニング現象に注意  
スピードの出し過ぎに注意 タイヤの摩耗に注意
- ☆ 雨降りで渋滞が多発、焦りに注意  
イライラ、焦りが交通事故や違反を招く



～ ゆとりある 心と車間の ディスタンス ～